

中国現地インターンシップ報告書によせて

愛知大学学長 武田信照

現代中国学部の第2回中国現地インターンシップが、2006年2月25日から3月11日の2週間にわたって実施された。今回は2・3年生13名がこれに参加し、独資・合資の違いはあるが、いずれも日系の7現地企業に所属して研修を行った。1名が病気で途中帰国したものの、他の12名は無事研修を修了することができた。このことを喜ぶとともに、何かと負担の多いインターンシップの受け入れにご協力いただいた7社に何よりもまずお礼を申し上げたい。

この研修の経験を記した報告を読めば、現場で中国の人々と働くことによって、単なる就業体験に止まらない職場における異文化体験から、多くを学ぼうとしていることが分かる。学生が大学の外に出て、企業や自治体の現場で職業体験をするインターンシップは、教育効果の面での評価も定着し、大学教育の一環としての位置づけを獲得しつつある。現代中国学部のインターンシップの特色は、それを中国現地企業で実施する点にある。同学部は現地重視を学部教育の軸心に置いていて、すでに「中国現地プログラム」と「中国現地研究実習」は学部開設以来の柱となっているが、無事2回実施されたこの「中国現地インターンシップ」が定着すれば、同学部の教育の特色は一層深みを増すことになる。重亜重亜大学でも、学生を選抜して2年秋学期に大連に留学させ、中国語の学習と現地日系企業でのインターンシップを組み合わせた「アジア夢カレッジ」のプログラムを始めた。この種の試みは、今後も増加するものと思われる。現地主義の先陣をきった同学部の現地インターンシップの一層の発展を期待したい。

CONTENTS

中国現地インターンシップ報告書によせて	愛知大学学長 武田信照	1
第2回中国現地インターンシップを実施して	愛知大学現代中国学部学部長 今井理之	2
年間スケジュール		2
研修先企業一覧／研修先企業所在地		3
華歌爾(中国)時装有限公司〈ワコール〉		4
BAの存在	海沼侑希	6
中国ワコールの人事管理	筒井美怜	8
欧姆龍自動化(中国)統括集団〈オムロン〉		10
中国の若者の企業観	河野純華	12
オムロンにおける人材の現地化	福井茉莉子	14
廊坊日質機械工具有限公司〈ユニカ〉		16
中国ユニカにみる「現地の日本化」	内田勝也	18
ものづくりにおける中国ユニカの社員教育	原 美冬	20
北京陸通印刷有限公司		22
北京陸通印刷の高品質なラベル製造	紅林文子	24
華糖洋華堂商業有限公司〈イトーヨーカドー〉		26
イトーヨーカドー十里堡店の戦略	高橋知子	28
北京ヨーカドーの「サービス」	大藪茉莉衣	30
天津北方五洋国際運輸有限公司〈伊勢湾海運〉		32
伊勢湾海運の中国での事業展開	長戸明輝	34
倉庫管理と人材管理	井上大輔	36
北京天通明商務咨询有限公司		38
中国人を仕事のパートナーとすること	佐々木敦美	40
事前準備日誌／事前準備ポイント		42
インターンシップの経験を武器に		42
第1回中国現地インターンシップ団長 西尾 優		
中国現地インターンシップにおける健康対策		43
研修を終えて		44
コラム もてなしの礼儀	芝崎あさ美	44
研修派遣を終えて		45
愛知大学現代中国学部中国現地インターンシップ委員会 委員長 松岡正子／松岡弘記／吉川 剛		